



ニュースリリース

2017年10月2日
新日鉄住金エンジニアリング株式会社

株式会社神戸製鋼所加古川製鉄所向け新溶銑処理設備の竣工・本稼動について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：藤原真一、本社：東京都品川区、以下「当社」）が株式会社神戸製鋼所より受注し、加古川製鉄所新溶銑処理工場に建設した新脱りん炉（Max. 270t/ch）が、2017年8月に竣工し、以降順調に稼動を続けております。

溶銑中の硫黄やりんといった不純物を除去するプロセスとして、2014年4月に稼働した新溶銑処理工場（機械攪拌式脱硫設備2基、上・底吹きガス攪拌型脱りん炉1基、完全燃焼型排熱ボイラー1基で構成、いずれも当社にて建設）に、今回新たに2基目の脱りん炉（ボイラー1基含む）を増設するものです。従来の混銑車による脱りん処理を2基の脱りん炉でほぼ全量行うことで、処理時間の大幅な短縮と効率化を図ることができます。

本工事は、既設建屋内への大物設備搬入を工場の操業条件に合わせ、適時に短時間に行う（写真左側）ことや、操業中の設備の隣で建設するなど、極めて厳しい工事環境・条件の中、非常に難易度の高いものでしたが、お客様や協力会社と連携を図り、完全無災害にて完遂し、順調な立ち上げを実現しました（写真右側）。

当社は、豊富な設備納入実績に基づく経験と技術力で、今後もお客様のさまざまなニーズに応えてまいります。



【大物設備の搬入】



【稼動中の脱りん炉】

[お問い合わせ先]

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <https://www.eng.nssmc.com/ask/>

以上